

第59回 留学生による日本語スピーチコンテスト

実施概要

早稲田大学国際学生友好会(WIC)

「留学生による日本語スピーチコンテスト」開催に当たっての挨拶

私たち早稲田大学国際学生友好会は、今年で70周年目を迎える早稲田大学公認の学生団体です。私たちは様々な活動を通して各国の留学生が留学生生活を豊かなものとし、日本に留学してきた目的を達成できるよう協力することを目標としています。新型コロナウイルス感染症による影響で国際的な交流が難しい中でも、オンラインツールなどを用いて積極的に留学生と交流を継続して行ってきました。そして留学生と共に国際感覚と国際知識を養い、互いに理解しようと日々活動をしています。

その活動の一つとして、毎年12月に「留学生による日本語スピーチコンテスト」を開催しております。年々、世界各国から日本に関心を持ち、日本で勉学を志す留学生の数は増加しています。しかしながら、留学生の母国の実情や文化、また彼らが日本で何を感じどのように考えているか、といったことを直に聞き、知る機会はなかなか無いというのが現状です。そうした現状の中で、私たちは微力ながらもこのスピーチコンテストを通じて、異文化の中で奮闘する留学生の声を発信し、私たち日本人がその声を直に受け取ることができる一つの機会を作りたいと考えております。留学生の声を直に聞くことは、彼ら自身についてだけでなく彼らの母国の文化や価値観を知るきっかけとなることでしょう。また、彼らと直接対話することはより深い国際交流へと繋がると考え、コンテスト終了後に審査員の方との交流会を設けております。このような取り組みを通じて、より多くの方が新たな価値観に触れるきっかけとなることを願っています。

新型コロナウイルス感染症が流行した2021年度は、当会においても国際交流の機会が大きく失われてしまいました。しかしそのような状況の中でも、様々な方々のご協力のもと、活動をオンラインと対面のハイブリッドで実施することで、56回目のスピーチコンテストを無事に開催することができました。そして一昨年度と昨年度は、共に対面での活動、有観客での開催を実現できました。さらに、コロナ禍で大会の配信を導入したことで、世代や国籍を超えてより多くの観客の方々と繋がることが可能になり、このスピーチコンテストに新たな魅力が生まれたと感じております。そのため、今年度も有観客開催、配信の実施を継続していく所存です。

このたび、第59回のスピーチコンテストを迎えるにあたり、これまでにご協力を賜った各位のご恩情と、ここに至るまでの先輩方のご尽力とをかみしめながら、会員一同が丸となってスピーチコンテストの運営にあたる所存であります。また同時に、このスピーチコンテストが留学生と日本人の相互理解を促し、国際交流の一層の発展への一助となれば幸いです。皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

早稲田大学国際学生友好会
第68代幹事長 加藤 颯大
スピーチコンテスト幹事 向井 悠人

「留学生による日本語スピーチコンテスト」企画概要

【企画内容】

当スピーチコンテストでは、出場者と当会会員が当日だけではなくスピーチコンテスト準備段階より密に関わり、お互いの理解を深めて親しくなれるよう、アドバイザー制度をとっております。また、交流のひとつとして、事前に懇親会も開いております。

当日、コンテストは2部構成となっており、第1部ではスピーチを、第2部では出場者についてスピーチとは違った角度から知っていただけるようなコンテンツを用意致します。また、コンテスト後には出場者と観客の方が直接会話のできる交流会の場も設ける予定でございます。

以下、詳細です。

○アドバイザー制度

コンテスト当日までの約1ヶ月間、出場者1名と当会会員数名とでグループを組み、週に2~3回程度の頻度で文章の簡単な手直しや読み方の練習をするなど、協力してスピーチを作っていく制度です。その際、出場者の方々にはある程度の時間を割いていただくこととなりますが、交流の一環としてご了承ください。昨年度は参加留学生や班員の状況を見ながら、ほぼ対面での活動が実現しました。今年度も基本的には対面での活動を行っていく予定です。

○スピーチコンテスト第1部

1人6-8分程度のスピーチを8人前後の出場者の方々にしていただきます。最優秀賞・優秀賞・観客賞と審査があり、受賞された方には賞品もご用意しております。

○スピーチコンテスト第2部

全てのスピーチが終了した後、出場者の紹介をする映像コンテンツや、班長・出場者へのインタビューなどを行います。出場者の皆様にも任意で出演して頂いたり、題材を提供して頂いたりすることがあります。

○交流会

コンテスト終了後、場所を変えて出場者と観客の方が交流できる場を設けます。出場者の母国や趣味に関するポスターも交えつつ、出場者と観客の方々とは直接言葉を交わすことで、より身近に国際交流を感じていただけます。昨年度は審査員の方々と出場者のみの交流会となりましたが、感染状況によりますので、今年度は開催の有無含めて検討中でございます。

【開催日】

2024年12月15日(日)

【会場】

早稲田大学 小野記念講堂

〒169-0071 東京都新宿区戸塚町1丁目103-18

【企画・運営】

早稲田大学国際学生友好会(WIC)

【協賛・後援(予定)】

協賛:新日本宝石株式会社、一般社団法人 日本在外企業協会、公益財団法人

昭和池田記念財団、早稲田大学オープンカレッジ修了生の会、

カシオ計算機株式会社

後援:早稲田大学日本語教育センター、公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟

協力:各国大使館員日本語スピーチコンテスト実行委員会

【問い合わせ先】

担当: 向井悠人(スピーチコンテスト幹事)

電話: 07036148809

MAIL: wicspeechcontest2024@gmail.com

HP: <http://wic50.com/>

<https://wicspeechkoutest23.wixsite.com/wic-speechcontest>

出場者応募要項

【応募資格】

以下の①～④の応募資格に全て当てはまる方

- ①現在在日中の外国人留学生・就学生(滞日年数、性別、国籍、年齢など是一切問いません)
- ②スピーチを通して伝えたい思いや主張のある方
- ③私たちの行う、アドバイザー制度に賛同・協力のできる方
- ④新型コロナウイルス感染予防への対応(アルコール消毒、マスクやフェイスシールドの着用、検温の実施、連絡先の収集等)に協力のできる方

【定員】

8人前後(出場希望者全員に面接を行った上で選考させていただきます)

※面接、アドバイザー制度は主に日本語で行います。

出場者過去実績

【出場者出身国・地域】

アゼルバイジャン・アメリカ・イギリス・イタリア・イラン・インド・インドネシア・ウズベキスタン・エジプト・オランダ・オーストラリア・カナダ・韓国・カンボジア・ケニア・サウジアラビア・シンガポール・スウェーデン・スリランカ・タイ・台湾・中国・ドイツ・トルコ・ネパール・バングラディシュ・フランス・ベネズエラ・ベラルーシ・マレーシア・ミャンマー・メキシコ・モロッコ・モンゴル・ラトビア・ロシアなど

【出場者出身校・所属】

早稲田大学・新宿日本語学校・イーストウエスト日本語学校・渋谷外語学院・富士国際語学イン・JET日本語学校・アカデミー日本語学校・早稲田語研・サンシャイン日本語学校・インターカルト日本語学校・O.L.J日本語学校・国際学友会・東京アカデミー日本語学校・国際観光専門学校・日本外国語専門学校・東京日本語学校・早稲田大学政研CBC日本語学校・文化外国語専門学校・河合塾国際教育センター・東京コンピュータ専門学校・三沢学園・東京ランゲージスクール・アンランゲージスクール・日本語教育センター・早稲田文化館・赤門会日本語学校・東京外国語専門学校・東京フジ国際語学院・新世界語学院・ICA国際会話学院・TOPA21世紀日本語学校・国際基督教大学・慶大国際センター・聖心女子大学・上智大学・立教大学・法政大学・東京外国語大学・亜細亜大学・明治大学・東京農工大学など

...順不同